

## 会 議 議 事 録

1 会議名	平成26年度 第3回 長岡市子ども・子育て会議
2 開催日時	平成27年2月13日（金曜日） 午後3時から午後5時まで
3 開催場所	さいわいプラザ6階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員)</p> <p>高野礼子委員長、兒玉優子副委員長、西山宗彦委員、 桃生鎮雄委員、高津徹委員、上杉美穂委員、河野瑞枝委員、 佐々木信和委員、成田涼委員、小島直生子委員、横澤勝之委員、 深見太朗委員、金山由美子委員、高野真規委員、 高山ゆかり委員、榎園早苗委員</p> <p>(事務局)</p> <p>子育て支援部：若月和浩 政策企画課：伊藤理 市民活動推進課：曾田望、堀川雄一郎 福祉総務課：栗山潤 福祉課：小黑恵美、高橋信徳 学校教育課：八木義克 保育課：栗林洋子、石田美智子、梅沢一茂 子ども家庭課：波多文子、長谷川正裕、小林桃子、五十嵐涼子、 小野塚俊朗、木村圭介、斎藤裕子、中嶋雅子 林春香</p>
5 欠席者名	関谷祐二委員、石井光之委員、馬場裕子委員、田中琴恵委員、 平野順子アドバイザー
6 議題	<p>(1)長岡市子ども・子育て支援事業計画（仮称）の愛称及び基本理念について</p> <p>(2)長岡市子ども・子育て支援事業計画（仮称）のパブリックコメントの報告及び委員からの意見等について</p> <p>(3)平成27年度 長岡市教育・保育施設等の入園状況について</p>
7 会議結果の概要	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長が資料No.1に基づいて説明した。</li> <li>・各委員が意見を述べた</li> </ul>

	<p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が資料No.2に基づいて説明した。</li> <li>・各委員が意見や感想などを述べた。</li> </ul> <p>(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が資料No.4に基づいて説明した。</li> </ul>
<p>8 会議内容</p>	
<p>(1) あいさつ</p> <p>(2) 議事 (1) 長岡市子ども・子育て支援事業計画（仮称）の愛称及び基本理念について</p> <p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛称については「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」、基本理念については「育つよるこび 育てる幸せ みんなで子育てするまち 長岡」が良いのではないかと考えております。</li> </ul> <p>愛称については「育ち“あい”」の中に、「育ち合う」「合い」と、ネットワークが広がる出会いの“会い”、愛情の“愛”、目と心を届ける“eye”、他にも“あい”はたくさんありますが、そのような“あい”を届ける「育ち“あい”」プランという表現にさせていただきました。“あい”については、「そだちあい」とずっと読んで良いのですが、ここに“ ”をあえて付けて強調しています。このことに関して視覚的なご意見を後ほどいただきたいと思います。</p> <p>基本理念については、11月の第2回長岡市子ども・子育て会議の際に皆様からご討議いただいた内容をもとに事務局と相談の結果、資料No.1-1の案が一番良いという結論になりました。</p> <p>それでは愛称の“あい”という表記についてはいかがでしょうか。資料No.1-2の6つの案を考えてみたのですが、ご意見はございますでしょうか。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料No.1-1の“あい”も良いですし、資料No.1-2の③のただの「育ちあい」も良いと思います。また、何かイベントなどの時には④も使っても良いのではないかと思います。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ意見です。イベント等の時には④のようにハートがついていると分かりやすいと思います。</li> </ul> <p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただの「育ちあい」も良いという意見もありましたがいかがでしょうか。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あい」にもいろんな「あい」があるので“あい”をクローズアップするのも良いと思います。製本した時の紙の色や、印刷する文字がカラーか白黒かといったことで</li> </ul>	

もイメージが違ってくると思いますし、子ども向けのイベントなどのときには優しいハートマークなどがあつた方が温かみがあると思います。また、製本された時の色によってもイメージが変わってくるかもしれないと思います。

(委員長)

- ・基本的には資料No.1-1の表記で進めたいと思います。また、印刷するときの色やイベントの際などにハートを付けるかどうかは事務局と相談し、決めさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(3) 議事 (2) 長岡市子ども・子育て支援事業計画(仮称)のパブリックコメント及び委員からの意見等について

(事務局)

- ・事業計画案につきましては、子ども・子育て会議の委員の皆様からご意見をいただくのと同時に、1月13日から27日までパブリックコメントを募集いたしましたが、募集期間中の意見の提出はありませんでした。
- ・それでは資料No.2-1をご覧ください。こちらは当会議の委員の皆様からいただきました40件のご意見、ご要望、ご質問のうち、事業計画案の記載内容の変更に直接関わるご意見についてまとめたものになります。また、ご要望、ご質問への回答は資料No.2-2にまとめさせていただきました。それでは資料No.2-1について、子ども家庭課、学校教育課、男女共同参画推進室、福祉課の順にご説明させていただきます。

資料No.2に基づき説明

<質問・ご意見・ご感想>

(委員)

- ・計画全体として、事業に取り組む年度が27、29、31年度となっていますが、どのような理由からでしょうか。

(事務局)

- ・第5章については国より義務づけられていることもあり、27～31年度の各年度の数値を記載しております。第4章については数値で目標を出せない部分もあるため、初年度の27年度と、見直しを行うと定められております中間年度の29年度、最終年度の31年度の3か年について記載しており、28年度と30年度については記載を割愛しております。

(委員)

- ・資料No.2-2の17の「父親に対する啓発、支援」として、DV防止に向けた対策についての意見を出しました。DVの加害者となる男性の原因としては職場のストレスや貧困などがあり、やめたくてもやめられない人もたくさんいるのではないかと思います。そういった方が相談できる窓口の設置についても今後検討してほしいと思います。

(委員長)

- ・DVについてはよくマスコミなどにも取り上げられておりますし、委員のおっしゃることもごもっともだと思います。

(委員)

- ・素案は非常に良くできていると思います。全体をとおしてになりますが、現在、社会においてインターネットが非常に使われており、子どもたちもスマートフォンに触れる機会も多いかと思います。子どもや親に対してインターネットに対する指導等もあった方が良く感じました。

(委員)

- ・子どもの発達障害も増えていますが、大人の発達障害も問題になっています。いろいろな母親の話を聞くと、大人の発達障害ではないかと思われるような話を聞く事があります。父親や母親の障害について、家庭を支援するという意味では担当課ではどのように考えているのでしょうか。
- ・保育課の「こどもすこやか応援事業」についてですが、資料No.2-2の3のように、訪問までに時間がかかる状態ではないかと思います。保育士に対して、配慮を要する子どもに対する研修等が行われていると思いますので、現場の保育士のスキルアップを今後もしていただきたいと思いました。

(委員)

- ・食物アレルギーの子どもは最近珍しくなく、例え自分の子どもが違っても周りの子どもがアレルギーである場合も多いため、食物アレルギーについて知る事は重要であると思います。また、子どもが生まれた直後はアレルギーの有無についてまだ分からない状態であるため、具合が悪くなった際に「どうしよう」と悩む母親も非常に多いのが現状です。ですので食物アレルギーに関する対する支援も充実してくると良いと感じました。

(委員)

- ・資料No.2-2の12の「青少年の非行に関する情報収集及び社会環境の実態調査」に関して意見を出しました。直接的に少年の非行に関係するというわけではないのですが、最近様々な場所で学生が勉強している姿を見かけます。そのこと自体は悪いことではないと思いますが、何か悪い事に巻き込まれたりしないかと心配です。「勉強をしに行く」「塾に行く」と言って外出する子どもたちに対して、親や学校の先生方だけでは目が行き届かないため、地域の人が声かけなどをして見守っていただけると良いかと思います。また、子どもたちから自習する場所が少ないとも聞きます。図書館や自習室はスペースに限りがあり使用出来ない場合があるため、アオーレやカフェで仕方なく自習しているようです。安全に自習できる場所を整備することによって、非行や事件等を未然に防げるのかもしれないと思いました。

(委員)

- ・資料No.2-1の13で、食物アレルギーの質問に関して丁寧な回答をしていただきありがとうございます。自分の子どもに食物アレルギーがある方だけでなく、興味があ

る方も一緒に参加できるような活動があれば良いという声がありましたので、今回の質問を提出させていただきました。今後はサークル活動の際に一緒に活動できる場をつくりつつ、いろいろな意見や情報を発信していけたらなと思っています。

- ・資料No.2-2の5の「産前産後寄り添い事業」についてですが、自分が妊娠した時は身近に近親者がいなかったため、一人で頑張った経験があり、今回、妊娠中から身近な地域の方が関わってくださる支援ができたことを嬉しく思います。また、自分自身も地域住民の一人として困っている人の子どもを預かれればと思い、ファミリー・サポート・センターの提供会員になるため、研修を受けてきました。妊娠中から子どもを迎える家の環境づくりなど必要な事をアドバイスしてくれる身近な地域の方も必要だと感じています。

(委員)

- ・長岡市の計画案は大変充実していると思いますが、多少気になった箇所がいくつかありました。特に計画の P50「夜間・休日の小児救急医療体制整備」についてですが、子どもの医療に関する記述が前回の長岡市子育て応援プランと比べて大幅に減ってきていると感じます。子どもの急病は親にとって一番の心配事であり、もう少しカバーしてもらいたいと感じました。
- ・保育園の民営化が始まった事は歓迎すべき事だと思いますが、29年度に2園、31年度に拡大と記述している根拠をご説明いただきたい。

(事務局)

- ・民営化は長岡の子育て環境をより良くしていきたいという理由で始めるものです。長岡市においては初めての試みですので、まずは公立保育園の現状を踏まえながら着実に進めていきたいということで、川西で1園、川東で1園を選ばせていただきました。今後は、この2園の実績を踏まえ、子どもの状況や環境の充実も考慮して計画を推進していきたいと考えております。

(委員)

- ・民営化自体は歓迎すべき事だと思いますし、今まで相当の議論をしてきたものですが、公立保育園の民営化は地域の人たちへの影響が大きいことでもあります。地域へのきちんとした説明がされることを期待しています。

(事務局)

- ・民営化については、保護者に対してだけでなく、地域の方々へも説明をしながら皆様のご理解をいただき、着々と進めていきたいと考えております。

(委員)

- ・計画の P78「民間児童クラブの運営費補助」について、内容を詳しく説明していただきたいと思います。
- ・児童館の運営をしている立場として、資料No.2-2の2の意見を読んで、全くその通りだと感じる部分もありますが、放課後児童クラブについては子どもよりも親の安心が最優先になっているように感じています。小学校1年生の登録時はワクワク、ドキドキする気持ちが大きいのですが、時間が経つと必ずしも楽しくないなどといっ

た声も聞かれます。それに関連して、少しお願いがあります。資料No.2-1の13の食物アレルギーについてですが、児童館ではこれまで調理実習を年に数回開催していましたが、昨今の食物アレルギーの問題で対応も慎重になる必要が出てきています。アンケートを実施し、保護者の了解も得たうえで実施するというように進めています。いろいろと障壁があり、非常に難しい問題となっております。回答では調理実習の実施は「難しい状況です」となっていますが、食物アレルギーの知識は必要であり、参加する親子だけでなく現場の職員にとっても勉強になるため、難しいからできないというのではなく、難しくても前向きに検討していただきたいと思えます。子どもたちの安全のためにも、食物アレルギーの調理実習や勉強会をぜひ実施していただきたいと思えます。

(事務局)

- ・民間児童クラブの運営費補助の内容についてご説明させていただきます。児童クラブの大部分は各地域のコミュニティ組織に委託し実施していますが、民間の事業者が運営している児童クラブが栃尾地域に1か所あります。新制度では市が定めた運営基準に合致している事業所であれば、届出をしていただくことによって国や県からも補助金が入ってきますし、それに伴い市も補助金を出していきたいということで新規事業として記載しております。
- ・資料No.2-2の2の児童館・児童クラブの運営についてですが、各児童館・児童クラブの厚生員さんたちから工夫していただいて、いろいろな活動をしていただいておりますが、場所が狭いことや子どもたちも慣れてくる中で、少し退屈だというような声も聞こえてきております。今後、市と児童館・児童クラブの職員の皆様とで知恵を出し合ったり、研修を実施したりする中で、子どもたちが楽しめる活動ができたらいなと思っております。
- ・食物アレルギーについてですが、これまでの計画には記載はありませんでしたが、今回少しではありますが、記載しております。市開催の研修にもアレルギーをお持ちでない方も含めて多数参加があり、関心が高いことがわかりました。食物アレルギーの対応は人によって全く違うため、個別の相談対応はできても統一的な調理実習は難しいと回答しましたが、新しい課題として民間の方からもご協力をいただきながら、皆で知恵を出し合って進めたいと思っております。

(委員)

- ・資料No.2-2の7「子どもふれあいサポート事業」に対して要望をさせていただきました。不登校やいじめの件を相談しても親身に聞いて貰えないという話を聞いたことがあります。相談して良かったという話も聞きますが、相談に行った時に「障がいがある」と言われて傷ついて帰り、その後相談に行かなくなり、今だに不登校のままとなっているケースもあります。親も子どもも理由もわからず不登校の状態になり、追い詰められた状態で相談に行くので、対応する窓口も多忙で大変とは思いますが、言葉のかけ方等に工夫していただけると助かります。

(事務局)

- ・失礼な対応があったとすれば、お詫びしなければならないと思います。今までも真摯に対応させていただいたつもりですが、至らない点もあったかと思っています。もしチャンスをいただけるのであれば、もう一度来ていただくか、または学校教育課のサポートコールへ電話をかけていただければ誠意をもって真剣に対応させていただきたいと思っておりますので、是非もう一度ご相談していただきたいと思っております。この場を借りて深くお詫び申し上げます。

(委員)

- ・素案については内容も充実しており素晴らしいものだと思います。幼稚園・保育園については平成 27 年度から新制度による節目を迎えることとなります。各園、いろいろな課題の中で準備を進めておりますが、スムーズに新制度に移行できますよう、今後ともご指導いただきたいと思っております。

(委員)

- ・素案の P67 にあります「児童虐待防止対策等の充実」についての意見です。保育現場では児童虐待を発見することがあり、早期発見・早期対応を心がけ、児童相談所と連携をとりつつ一時保護等へと対応を進めてますが、連携に齟齬をきたしている部分もあります。最初は協力的な保護者も時間がかかるとだんだん心のシャッターを閉じてしまい、コミュニケーションが取れなくなってしまう。一時保護の施設に空きがなく、対応が難しいことも多くあると思っておりますが、悲惨な事件にならないように、連携して対応していけたらと思っておりますので、対策をもう少し考えていただければと思います。
- ・子育てコンシェルジュについては情報を適切に効果的に提供するという意味で大切な役割を果たすことになると思っておりますので、周知に力を入れ、事業の充実を図っていただきたいと思っております。

(事務局)

- ・年々、児童虐待の件数も上がってきているのが現状です。児童虐待についての情報があった際は、市にも「要保護児童対策地域協議会」という相談窓口がございますので、ご相談していただければと思います。
- ・子育てコンシェルジュについてはご希望に添うよう、努力してまいります。

(委員)

- ・素案については、基本理念がわかりやすくなっていて良い目標になっていると思います。次代の親になる子どもたちへの前向きな投資、充実した子育て支援、市民力・地域力を活かす方向性については、それらがバランスよく配置されているように思います。親が子育てにしっかりと向き合い、地域の人や周りの人が協力してやっていくことにより、計画が生きたものになると考えています。
- ・行政の行き届いたサービスがある中で、気持ちや忙しさなど様々な理由によりそれを利用できない人たちがいます。例えば親族に子どもを預けることができない人が 1 割弱いますが、本当に支援を必要な人たちが充実した支援を受けられるようにして

いくことも大事なのではないかと思います。

- ・市民力や地域力を活かすことも大事なことだと思いますし、長岡市は子どもたちに対する思いが熱い地域だと思っています。ボランティアで学校を支えてくださる方々がたくさんいらっしゃいますが、一方的に支援するというのではなく、その活動に生きがいややりがいを感じられるようにしていくことも大事ですし、地域と子育て支援を必要としている人を繋ぐコーディネーター的な取り組みが充実すると計画が良いものになると感じています。

(委員)

- ・皆様のご意見が素晴らしいと感じました。

私たちは、DVに至る前の若いお父さん・お母さんたちに何かお手伝いできないかという思いで活動しており、今年度は保育園・幼稚園へ出前講座をいたしました。行事の後の時間などに実施させていただいているため、短い時間となってしましますが、聞いてよかったと言ってくださるお母さん方が多く、自分の気持ちを出せる場や自分だけが悩んでいるのではないと安心できる場を広げていけたらと思っています。

- ・長い間小学校の役員をしていましたが、学校とPTAの関わりはとても大事だと感じました。学校単位で動くことが多々ありますが、校長先生が変わる度に学校の雰囲気ガラッと変わってしまうことがあります。PTAが大事だと思ってやってきた事も校長先生からあまり重要ではないと判断されると、次に繋がらず残念に思ったこともありました。学校の先生方も子どもたちを第一に考えて対応していただきたいと感じました。

(委員)

- ・今回新しく始まる産後ケア訪問や産前産後寄り添い事業というのは虐待予防にも繋がり、良い事業だと思います。楽しみにしています。
- ・母親に対してはたくさん支援がありますが、父親に対する支援が少ないのではないかと感じます。長岡市では、パパママサークルといった、夫婦で出産や育児について学ぶ場がありますが、その後夫婦で参加できるものがあまり知られていないように感じます。父親も母親も仕事、家事、育児の全てを充実させたいと思っている方が多くいらっしゃいますので、父親も育児に参加しやすくなるような支援がもっとあると良いと感じました。

(委員)

- ・母子保健推進員のパパママの活動に、最近は父親も結構来てくれるようになり、とても喜んでおります。子どもが3歳くらいになるまでは父親も母親と同じ様に出番があるものですが、それ以降も父親の出番がもっとあっても良いのかなと感じています。母子保健推進員が家庭に訪問する時にも、父親も交えてお話しさせていただけると良いと思いました。

(事務局)

- ・父親に対する事業にも少しずつ取り組んではおりますが、まだまだこれからだと



思います。来年度は新規事業として企業向けの出前子育て講座を実施し、男性の参加を図りたいと考えております。

(委員長)

- ・それぞれの立場からいろいろなご意見をいただきまして有意義な会議だったと思います。皆様のご意見を参考にさせていただき、よりよい事業計画とするためにさらに検討を進めていきたいと思っております。

(4) 議事 (3) 平成 27 年度 長岡市教育・保育施設等の入園状況について  
資料No.4に基づき説明

(5) 閉会あいさつ

(出席委員の署名欄)

上記会議議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名をする。

長岡市子ども・子育て会議 委員長

⑩